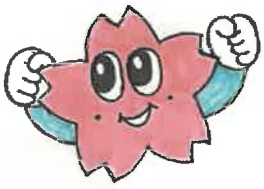

2026
【Vol.541】
3月号

# 横浜市会議員
# 花上きよし熱血市政レポート

## 花上市議
## 相川新監督を激励！
### ベイスターズ沖縄キャンプを訪問

▲相川新監督を激励した花上市議

２月１４日、花上喜代志横浜市議が横浜DeNAベイスターズのキャンプ地、沖縄県宜野湾球場を訪れ、相川亮二新監督に花束を贈呈し、今シーズンの活躍を願って激励しました。

花上市議は超党派の横浜市議でつくる横浜市会議員野球団の選手兼監督として市議初当選以来、ベイスターズ球団と交流に努めて来ました。

マルハ大洋漁業、TBS時代を経て、現在のDeNAに至るまで、ベイスターズ球団を応援、歴代の監督を毎シーズン沖縄キャンプを訪れ、激励してきました。

特にDeNAになって以来、中畑清監督、ラミレス監督、三浦大輔監督と親しく交流したばかりでなく、ベイスターズ球団のOB会と毎年のように親善試合を行い、チームぐるみの交流を続け、応援してきました。

横浜にプロ野球の球団があることは、横浜市民の誇りであり、今では市民全体でベイスターズの応援で盛り上がりを見せており、横浜のにぎわいや、経済効果にも貢献しています。

横浜市ではベイスターズ以外にもプロバスケットの横浜ビーコルセアーズ、横浜エクセレンスやサッカーの横浜Fマリノス、横浜FC、ラグビーの横浜イーグルスなど１３のスポーツクラブと連携し市民全体でスポーツを盛り上げ、にぎわいを創出しています。

## スポーツ都市ヨコハマ・健康とにぎわいを！

横浜は１３のプロスポーツチームを応援してヨコハマを盛り上げています。

▲中畑清監督

▲ラミレス監督

▲三浦大輔監督

2026
【Vol.541】
3 月号

# かわら版瀬谷

横浜市会議員 はなうえきよし

熱血行動派

# 花上きよし市政レポート

## 地元住民の利便性確保を！
## 瀬谷バス専用道線に中間駅を

横浜市会議員 花上喜代志

▲堀野会長とともに平原副市長に要望

相鉄線瀬谷駅周辺から旧上瀬谷通信施設につながる新たな交通「瀬谷バス専用道線」。

横浜市は２０３０年代前半の供用開始を目指しています。

計画では区間内の中間地点に駅が無いことから、私は１月２０日、地元の自治会町内会の皆さまと共に要望書を横浜市に届けました。

瀬谷バス専用道線は、瀬谷中学校移転後の敷地に整備する「瀬谷側ターミナル」と、跡地内の「上瀬谷ターミナル」を結ぶ路線。

環状４号線沿いには住宅地が広がっていることなどから、バスは地下トンネルを経由して跡地を走行します。

要望書は近隣の自治会町内会長２０人の方々が賛同したもので、その柱は瀬谷～上瀬谷間に２カ所の中間駅を設けることとしています。

近隣の相鉄線では０．６～０．９㎞の間隔で駅が設けられていること、また、２８年度に瀬谷中が旧瀬谷西高校跡地に移転することもあり、中間駅の設置を求めました。

私は２０日、瀬谷北部町内連合会の堀野州男会長とともに平原副市長を訪問。地元の方々の声を届けました。平原副市長からは地下に３５ｍに中間駅を整備することは困難という見解が示されましたが、地上にバス路線を通す代替案があり、今後検討することとなりました。

急速に開発が進められる瀬谷区。

私は、地域の方々の声が街づくりに反映されるよう、今後も全力で取り組みます。

## 山中市長
## 26年度予算案、一般会計2兆円超！
## 子育て支援と暮らしに重点！健全財政に配慮

山中市政２期目のスタートとなる２６年度予算は、中期計画の第一歩として、市民が実感できる暮らしに寄り添った予算となりました。

ふるさと納税による横浜市の市外への流出額が過去最大の３７３億円に達する厳しい財政状況の中、４月からの中学校給食完全実施を予算化するなど、市民生活を守り、子育て支援に力を入れた予算となりました。